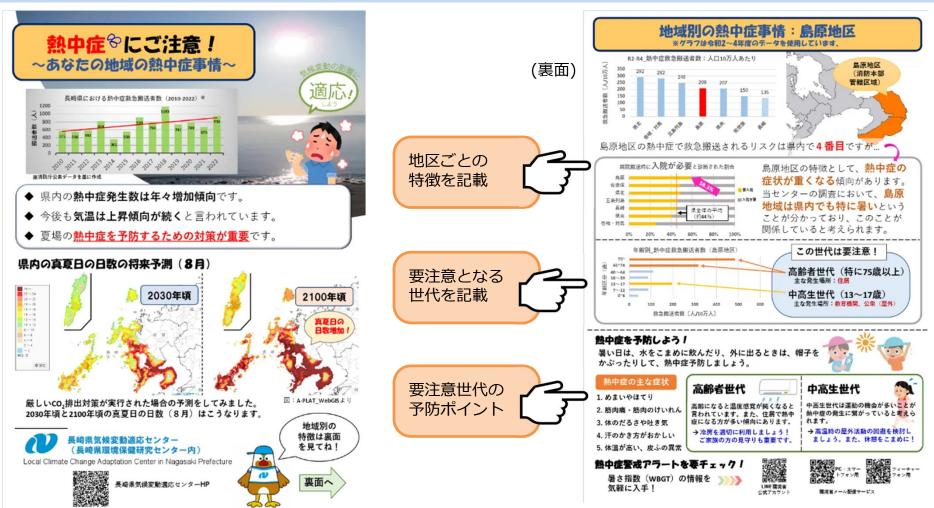
事例12. 長崎県(1) ~あなたの地域の熱中症事情~

- ●長崎県環境保健研究センターが、令和2~4年にかけて県内を7地域(長崎、佐世保、県央、県北、壱岐・対馬、 五島列島、島原)に分けて地域ごとに分析を実施し、その結果について普及啓発資料として作成・公表。
- ●特にリスクが高いとされた島原地区については別途詳細版を作成・公表。
- ●島原地域の高齢者を対象とした出前講座や主催又は出展イベントで配布。県民に対する普及・啓発に活用。

通常版(島原地域)

(表面)



長崎県ホームページ https://www.pref.nagasaki.lg.jp/bunrui/kurashi-kankyo/kankyohozen-ondankataisaku/kikouhendo/heatstroke/1717728066.pdf

事例12. 長崎県(2) ~あなたの地域の熱中症事情~

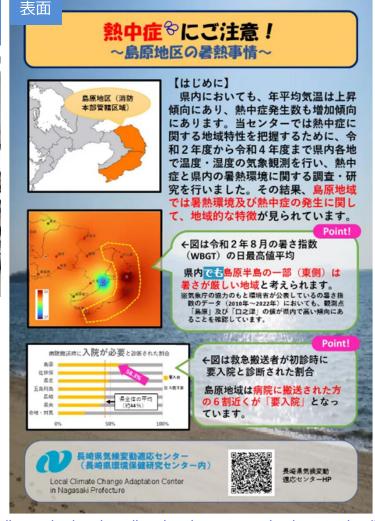
詳細版(島原地域)

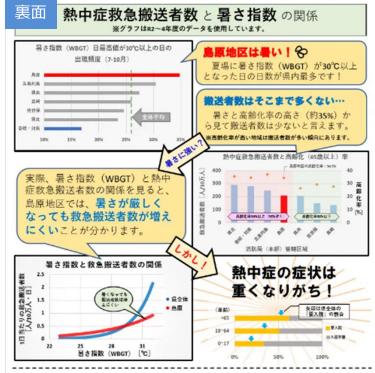


▲県内で比較的暑く、熱中症リスクが高いとされる島原市、南島原市にて一般住民を対象とした講演を実施。

写真は「あかね会」(ひとり暮らし高齢者食事会(島原市))での講演の様子。

この他、市広報紙に研究成果に基づく 啓発記事も掲載。





【まとめ】

○島原地区は県内でも比較的暑い地域のため、住民の皆 さんは暑さ慣れしている可能性があります(救急搬送者数少)。

○ 熱中症になると、その暑さのため、症状が重くなる 可能性が高いと考えられます(要入院患者数多)。

熱中症警戒アラートを要チェック! 暑さ指数(WBGT)の情報を 気軽に入手!







長崎県ホームページ

https://www.pref.nagasaki.lg.jp/bunrui/kurashi-kankyo/kankyohozen-ondankataisaku/kikouhendo/heatstroke/1717728065-3.pdf

■苦労した点

県内の暑さ指数調査のために、最大70地点(小学校)に温度·湿度を記録するデータロガーを設置したため、各種調整やデータの回収、整理、分析に苦労しました。

■工夫した点

県民に「自分事」と捉えていただくために、県下全域ではなく、 地域別(7地域)の啓発資料として作成しました。

※令和6年度のヒアリングによる 2